

# ここが知りたいQ&A (質問タイプ別索引)

## A

障害のある人を対象とした事業を、どのように企画したらよいのでしょうか？



## B

事業を実施する上で、どのような機関と連携すればよいのでしょうか？



## C

教室やイベント等の周知はどのように行うのでしょうか？



それぞれの地域でどのように障害者スポーツを導入しているのか、参考にしてみましょう。

### スポーツ教室の実施

..... [1](#) ・ [10](#) ・ [12](#) ・ [14](#) ・ [15](#)  
[20](#) ・ [21](#) ・ [22](#)

### イベントへの体験ブースの設置

..... [3](#) ・ [11](#) ・ [13](#) ・ [16](#) ・ [17](#)  
[18](#)

### 既存の事業における新たな種目の実施

..... [2](#) ・ [3](#) ・ [11](#) ・ [13](#) ・ [14](#)  
[15](#) ・ [16](#) ・ [17](#) ・ [18](#)

様々な立場の方がそれぞれの得意分野を活かして連携して取り組むことが、事業を円滑に進める秘訣です。

### 企画・立案・運営・用具の貸出し等のサポート

▶ 全ての事業について公益社団法人東京都障害者スポーツ協会が協力しています。

### 地域等におけるボランティアの確保

..... [1](#) ・ [2](#) ・ [3](#) ・ [11](#) ・ [12](#)  
[13](#) ・ [16](#) ・ [17](#) ・ [18](#) ・ [19](#)  
[21](#) ・ [22](#)

### 行政の支援

..... [16](#) ・ [18](#) ・ [20](#)

### 様々な機関が連携

..... [2](#) ・ [3](#) ・ [11](#) ・ [13](#) ・ [17](#)  
[18](#) ・ [19](#) ・ [21](#)

広報誌等の活用のほか、障害者が利用する施設等に声をかけることで、参加者を集めやすくなります。

### 区市町村広報の活用

..... [1](#) ・ [3](#) ・ [11](#) ・ [16](#) ・ [18](#)  
[20](#)

### 福祉施設・学校等団体への呼びかけ

..... [1](#) ・ [3](#) ・ [10](#) ・ [12](#) ・ [13](#)  
[14](#) ・ [15](#) ・ [16](#) ・ [17](#) ・ [18](#)  
[21](#)

### 障害者スポーツセンター利用者への周知

..... [10](#) ・ [12](#)

「障害者スポーツ事業に取り組もう」といっても、いろいろな疑問がわいてきませんか？

ここでは、初めて事業に取り組む方からよく受ける質問を集め、その答えのヒントとなりそうな事例を以下のとおり分類してみました。

事業を企画する際の参考にしてみてください。

11～22の番号は事例ナンバーです。

# D

障害のある人が取り組みやすいスポーツにはどんなものがありますか？



# E

障害のある人へのスポーツについて理解を深めたいのですが、どうしたらいいですか？



# F

事業を継続していくためのポイントは何ですか？



参加しやすい種目は、障害の種類や程度によって異なります。ここでは、平成23年度地域開拓推進事業により実施したスポーツを紹介します。

## ボッチャ

…… 2・3・5・8・11  
13・14・15・16・17  
18・20・22

卓球バレー…… 1・20・22

## 4B バルーンバレー

…… 6・17・22

ドッチビー…… 2・12・17

卓球…… 3・10

パラバルーン遊び …… 6・14

フロアーホッケー …… 12・19

ショートテニス…… 1

ハンドサッカー…… 21

水泳…… 1

バスケットボール…… 14

グラウンド・ゴルフ…… 13

障害の種類・程度による支援方法や取り入れている種目について、取組事例を参考にしてみましょう。

障害者スポーツ事業を企画するのが初めての方は、まず研修会や講習会を企画し、自分たちで体験する機会をつくるのもお勧めです。

## 障害の種類・程度による指導上の留意点

…… 1・7・9・10

## 実施種目

…… 6・7・9・10・12  
13・14

## 体験して理解する

…… 4・5・6・7・8  
9・19

障害者スポーツの事業を支えてくれる指導者やボランティアを地域で確保することが大切です。

また、障害のある人となない人がともに楽しんでいることが、継続する秘訣になっている例も多く見られます。

## 指導者の養成

…… 4・5・6・7・8  
9・19

## 障害のある人もない人もともに楽しむ

…… 3・10・11・12・13  
15・16・17・18・19  
22